



フロリダ大学・NVIDIA 京都大学 国立教育政策研究所
大阪大学 統計数理研究所 一橋大学 など

研究力向上・展開

データサイエンス・
AIによる社会変革

好循環

【取組 1】学術研究

滋賀大学を中核とする連携による研究の高度化と研究環境の増強

【取組 2】人材育成

次世代からリスキリングまでの人材育成と社会課題解決

【取組 3】産官学連携

全学センター機能強化による産官学連携の更なる推進

【取組 1】学術研究

学術研究 × 人材育成 × 産学官連携の
相乗効果による価値創出・課題解決

日本のデータサイエンス
・ AI 領域をけん引する
滋賀大学

より高度な
課題解決の要請

企業・自治体

【取組 3】産官学連携

【取組 2】人材育成

共同研究「質・量」UP



人材育成「質・量」UP

企業
大学・大学院
教育委員会

高校
小中学校



取組 ① 滋賀大学を中核とする連携による研究の高度化と研究環境の増強

研究の専門性を重層的な連携により高度化

研究の高度化

高度化戦略 ① 理論と実践の往還による相乗効果で研究者が成長

研究グループ《国内》

統計数理研究所：トップレベルの統計学研究
一橋大学：社会科学DS研究の高度化
京都大学：DSの基礎研究と人材循環
大阪大学：DSの基礎研究と人材循環

滋賀医科大学：ライフサイエンス系の共同研究拡大
長浜バイオ大学：バイオインフォマティクス系共同研究
京都橘大学：情報工学系の共同研究
国立教育政策研究所：教育分野のDS研究力の向上

研究グループ《海外》

フロリダ大学：AI分野での共同事業

NVIDIA (エヌビディア)：AI・DS分野の高度な共同研究

我が国のDS・AI研究を継続的に牽引し続ける卓越性

インフラ整備と連携によるイノベーション

イニシアティブ棟【新設】(R5 地域中核研究大学施設整備事業)

高度化戦略 ② 人と空間の拡充で連携(研究分野)が拡大

専門性(領域・支援)の限界

現在

研究環境の限界



【6年前】
DS学部
誕生

- 因果探索
- 三次元画像解析



全学組織

研究推進機構

産学公連携推進機構

DS・AIイノベーション
研究推進センター

研究環境をより高度化

KPI：DS・AI研究関連成果発表数 225 → 300 (R8)

取組 ② 次世代からリスキングまでの人材育成と社会課題解決

【人生100年時代】

- ・プログラミング教育必修化
- ・就業期間の長期化
- ・人材の流動化
- ・生涯学習の推進

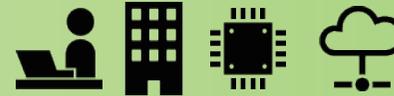


小学校からのプログラミング教育必修化を皮切りに、全世代を通じて**定期的なスキルのアップデート**や**新たな能力の学び直し**が必要



データサイエンス・AIのトップランナーである滋賀大学がレベルに応じた**リスキング**を行うことにより高度人材の育成と社会課題の解決を行う

次世代から一貫した人材育成プログラム



次世代育成

小・中・高
レベル

育成スクール
e-learning 教育
(MOOC 活用)

ジュニア データサイエンティスト 育成スクール

～プログラミングとAIを学ぶ教室～

開講 5月開講予定

現在、ICT（コンピュータやネットワーク）は驚くべきスピードで進化しています。特に AI（人工知能）はこれからの社会や生活を大きく変えると言われています。2030年には、この ICT や AI が生活のあらゆる場面に組み入れられ、データサイエンティストは欠かせない人材となります。

君も未来社会のデータサイエンティストに！

飛び込み デジタルの世界!! 受講生大募集

大学
レベル

教科書発刊
e-learning 教育
(MOOC 活用)

数理・DS・AI 拠点事業で全国展開

これからの時代の必須アイテム

大学生のための データサイエンス I

リスキング・アップスキル

アドバンス
レベル

ハンズオン
教育プログラム
(MOOC 活用)

- ・「トヨタグループ機械学習実践道場」
- ・「日野自動車データサイエンス塾」
- ・製薬系「データサイエンス人材育成プログラム」

院・高度専門
レベル

大学院拡充

企業派遣等様々な背景の若手人材を DS 高度人材に育成し、先端共同研究の人材不足を解消

《強化のポイント》

全学組織である DS・AI イノベーション研究推進センターの機能強化を図り、次世代から一貫した人材育成プログラムの質・量を向上させ、DS 高度人材育成を促進させる。

《KPI》

- ① MOOC(大規模公開オンライン講座) 等 教育プログラム作成数 9 15 (R8)
- ② MOOC(大規模公開オンライン講座) 等 教育プログラム受講者数 (のべ) 95,000 人 187,000 人 (R8)

取組 ③ 全学センター機能強化による産官学連携の更なる推進

産官学連携の輪

センターの機能強化で
産官学連携の更なる推進

【全学組織】
DS・AI
イノベーション
研究推進センター
《約 50 名 (全学部)》
戦略推進室

センター機能強化

戦略推進室拡充

URA 組織化・キャリアパス

教員・URA 等

産官学連携
【取組 ③】

教員・URA 等

人材育成
【取組 ②】



広報戦略
【取組 ③】

教員・URA 等

知財・法務
【取組 ③】

教員・URA 等

【研究加速】

【KPI ① 共同研究センター設置数：3 ⇒ 7 (R8)】

- 最先端ラボにおける研究環境改善
- 給与改革の推進
- 若手にも魅力あるサバティカル制度拡充

- 共同研究センター (大型共同研究) 拡充による先端研究推進
- 研究インセンティブ付与
- 教職員の能力の高度化

【経営改革】

- 獲得した外部資金による、次の段階への研究力増強への戦略的投資

【外部資金獲得】

【KPI ② 本事業による外部資金獲得効果額 (累計)：0 円 ⇒ 300 百万円 (R8)】

- 企業への戦略的なアプローチ
- 共同研究センター増加による中長期的な外部資金の確保
- 民間との外部研究費を PI や研究分担者の給与水準向上等の財源として活用

企業等との連携の増

- ① オープンイノベーション創出の質的拠点である新棟設営を起爆剤とした全学組織である DS・AI イノベーション研究推進センターの中にある戦略推進室の機能強化による社会変革
 - 戦略的に業務を遂行するため組織化した URA を配置し、産官学連携等各機能を強化
 - 統括 URA・チーフ URA など職階を整備し、URA のキャリアパスにおける制度を構築
- ② 医学・工学系を有しない文理融合型大学における研究力を核とした外部資金獲得モデルの構築
 - 令和 3 年度大学等における産学連携等実績状況 (文部科学省) において「民間企業との共同研究に伴う 1 件当たりの研究費受入額」が調査対象 1,078 機関中 18 位、また企業との連携数は 300 超
 - 【KPI ③: 共同研究単価：5,000 千円 ⇒ 6,500 千円 (R8)】
 - 医学・工学系を有しない大学における研究力を核とした外部資金獲得モデルを構築